

平成28年度 香川県校友会定時総会

平成29年6月24日（土）、午後3時よりJRホテルクレメント高松で、平成28年度校友会定時総会が開催された。

総会に先立ち、柵木寿男生命歯学部接着歯科学講座准教授（78回）による「みんなにやさしい接着歯冠修復2017」の講演があった。臨床家にとって大変有意義な講演だった。

総会では高橋利友県校友会専務補佐（87回）の司会で形通り進められ、河田耕治県校友会副会長（64回）の開会の辞で始まり、山下喜世弘県校友会会長（63回）は挨拶で「今年度は西原専務を軸に、香川県校友会史資料収集・編集の事業に時間を費やした。大正、昭和初期や校友会発足当時の資料が少ない。先達の他界や高松空襲で焼失したことが原因であろう。県立や大学図書館で資料を探し、医の博物館の樋口輝雄参与らにご協力をお願いした。次年度もしばらくはこの事業が続くと思うがご協力をお願いしたい」と述べた。来賓挨拶として藤井重壽校友会本部副会長（62回）は、創立110周年記念式典の状況、また大学へ育英資金が寄付できたこと等のお礼を述べられた。

協議では議長に高橋利之会員（61回）が選出され、各部担当理事から報告があり、西原実男県校友会専務理事（74回）より校友会史編集の進捗状況や作成費用の説明があった。議案は、会史作成に関する経費等を含めすべて承認可決された。

次いで第4号議案に役員改選があり、3期6年間の任期を務められた山下会長が勇退され、新会長に河田会員が選出された。河田新会長から「前会長から引き継ぐ校友会史作成の事業などがあるため、皆様の更なるご協力をお願いします」と挨拶があった。

その後、藤井副会長、県歯会役員や木村義雄参議院議員をお招きし懇親会が行われた。私共にとって木村議員（比例）は、今年度、全国歯科医師国民健康保険組合の国庫補助の見直しに関わる対応に大変なご尽力をいただいた。議員のご挨拶の中で診療報酬改定や個別指導等、我々の身近な話題に触れ歯科の応援団として積極的に取り組むことを約束していただいた。その後、我が小豆島出身、空手部OBの藤井副会長の乾杯のご発声で校友会の宴が始まり、何処の会にもない校友会独特の穏やかな時間と笑顔が夜の瀬戸内海に流れた。（西原実男・74回記）



平成28年度香川県校友会定時総会 平成29年6月24日 於 JRホテルクレメント高松